

令和4年度 学校評価報告書

学校法人東京キッズ学園
調布白菊幼稚園

1. 教育目標

『優しい心の元気な子』

- ・挨拶と返事の出来る明るい子
- ・強い身体に優しい心
- ・人に親切、仲良く助け合う気持ち
- ・よく考え進んで学ぶ
- ・規律正しい団体生活

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

「子どもたちの主体性を引き出せるよう、保育技術の向上と実践を目指す」

3. 評価項目項目及び取り組み状況

評価項目	評価	取り組み状況
挨拶の強化	◎	<ul style="list-style-type: none"> ○自発的なあいさつが出来るようになってきた ○相手の名前を付けて挨拶する姿が見られるようになった ○部屋を出る前に会った友だちや保育者にあいさつをする様、言葉を掛けた ○あいさつの良さを伝えた ○あいさつする事、しない事を具体的に例を見れ、見て感じ学んだ ○子ども自身で気が付き、積極的にあいさつする姿が見られた ○満3歳児は言葉の発達に個人差がある為、1人1人に合った指導をしていった ○目を見て言う、見ないで言うを先生が再現し、どうするかを実感できるようにした
言葉かけの工夫	◎	<ul style="list-style-type: none"> ○1回の言葉かけだけでも気持ちを切り替えられる様に ○年長児は進学も視野に入れた言葉かけを工夫した事で、子ども自ら切り替え、意欲的になった ○毎日何をやるか細かく説明していたが、説明を減らし考えながら行動出来るようにした ○強制ではなく子どもがやりたいと思える様な言葉を掛けた ○どういう言葉が良いのかを伝えるのではなく、子ども自身から「ありがとう」等の言葉が出来るようになった ○子ども同士で解決出来る様、援助をする言葉をかけた ○「どう思う」「どうしたい」等の子ども自身が考えられる言葉かけを行った ○言葉だけでなく、体や表現で大きく表現して感情を伝え、活動や行事に対する期待が持てるようにした

<p>テーマを設定した環境構成</p>	<p>◎</p>	<p>○泥んこハウスやプラレールなどの与えられた環境の中で、他クラスの子と共に、疑問点を解決し合いながら、1つの物を作り上げる姿が見られた</p> <p>○子どもたち同士で約束事を声掛けし合う姿がより多く見られる様になった</p> <p>○ターザンロープや高さのあるすべり台等苦手なものも挑戦出来る様に、前向きな言葉かけをした</p> <p>○子ども達が選んで遊べるように環境設定した</p> <p>○年齢関係なく他学年の子どもと交流した</p>
<p>職員間の連携と職員の育成</p>	<p>◎</p>	<p>○細かい事も情報共有が出来ている</p> <p>○行事等の前日には、学年全員で確認する事でミスが減らすことができた</p> <p>○発言出来るような質問をする様にした</p> <p>○行事担当が増え、全員が集まれる時間が限られてしまい、ハイタッチが出来ていなかった</p> <p>○延長での姿を報告するなど、ケガや気になる子の共有だけでなく関わりを持った</p> <p>○思った事は直接伝え、相手が成長出来るようにする</p>

4.次年度への課題

- ・「挨拶の強化」では、過半数以上の子は達成出来ていたが、クラス全員が挨拶の良さを知り、気持ちを込めて且つ自発的に全員が行えるよう、先生が手本となり行っていきたい。
- ・「テーマを設定した環境構成」では、遊具や玩具は豊富だが、それをを用いて深く遊び込める 時間ももっと設けられる様にしたい。
- ・子どもの言葉にもっと耳を傾け小さな発言も拾う。
- ・充実した環境を活かし、今後も先生同士、園全体で連携を取り、保育の質を向上させる。
→挨拶の継続・子どもの主体性を大切にする(放任とならない様に)・泥遊びの充実・”ハウレンソウダネ”を大切にする・他学年とのコミュニケーションを図る
- ・常に保育者としての責任と品位ある言葉づかいを心掛ける。
- ・子どもに教えるだけでなく、自ら実践していく。
- ・子どもたちの事を第一に考え、子どもの一つひとつの行動を「なぜこうするのか」「なぜ楽しんでいるのか」等、本気で子ども1人ひとりの個性を見るようにしていきたい。
- ・先生自身のゆとりや考え方を広げていけるようにしていきたい。

5.学校関係者 評価結果

評価	評価内容
<p>◎</p>	<p>・白菊幼稚園の子どもたちはいつも元気よく挨拶をしてくれます。日頃から先生の挨拶の姿をみたり、ご指導のもと子供達に自然と身につけているものと思われます。</p> <p>・園行事もコロナ禍でも工夫して行なっていただき、普段より意見を出し合い、情報共有されているとこのことで先生方のチームワークが良さを感じておりました。</p> <p>・園はHPを常に更新し関係者向けに保育内容の動画配信をしたり、毎月発行する冊子にてスケジュールや連絡事項・子供達の保育内容・写真・先生方からのコメント等分かりやすく保護者に情報を発信することに併せて、れんらくアプリを用い都度重要事項を配信する等保護者への対応が親切丁寧だと感じる。</p> <p>・園は子供達の健康状態や安全に気を配り一定の基準を示し無理せず登園するよう促したり、保育活動中に怪我をした場合には、保護者への連絡、怪我の大小問わず迅速な手当、病院への搬送有無を確認し、教職員の方々の連携がしっかりされていると感じる。</p>

評価	評価内容
◎	<p>・日常生活でも、大人には敬語を使い話すなど場面に合わせた言葉使いをしています。 毎朝、着替えの時間になると今日は制服か、体操服か確認し自分で身支度が出来るようになりました。</p> <p>・参観日などで、先生の話は背筋を伸ばし聞いたり、グループで協力し1つの物を作成する姿を拝見しとても感動しました。ひとえに先生方の日々のご指導の賜物だと実感いたしました。</p> <p>・保護者が園に自由参観などで行くと、園児から積極的に笑顔で挨拶をし、達成していると考えます。</p> <p>・園児はわからない事があるとすぐに大人に答えを求めるのではなくまずは自分で考えてから大人に質問するようになってきている。</p> <p>・他学年のこどものことをよく知っており挨拶や自ら話かける様子がみられている。園全体での交渉の結果と考える。</p> <p>・園児は担任以外の先生の名前を覚えており、先生全員が園児と関わっている結果と考える。園児は先生と「こんな話をしたんだ。」「こんな事をしたんだ。」と園での出来事を家庭でも嬉しそうに話してくれて楽しく園生活を過ごしているのだと感じる。</p> <p>・幼稚園だけでなく、家庭や地域の人にも自主的に挨拶できるようになった。</p>